

TASUKEAI 0 PROJECT START!



毎日1時間の日本語の授業を支援

はじめまして。わたし達は TASUKEAI 0 PROJECT を運営する株式会社 shoichi です。
『廃棄0がこども達の未来を創る』をキャッチフレーズに衣料品を通じて日本と海外
をつなぐ事業に取り組んでいます。

この TASEKEAI 0 PROJECT REPORT を通じてわたし達の事業の取り組みと、それを
通じて出会うたくさんの人たちの活動の様子や、こども達の笑顔をお届けします。

わたし達と共に助け合いの輪を創りませんか？

皆さまのご参加をお待ちしています。

SOFDA 孤児院で日本語を学ぶ子供たちを REPORT

子供たちに学ぶ機会の提供をしたい！

●2019年7月～プノンペン市内の孤児院にて日本語の学習が始まりました。

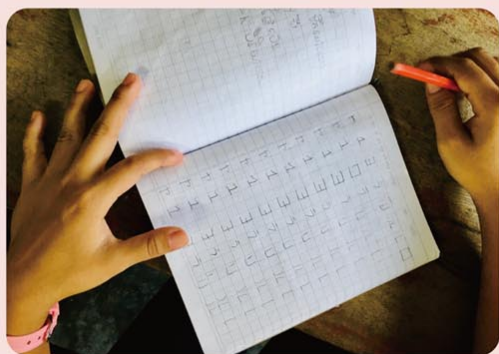
夕方5時30分、子供たちはそれぞれノートと鉛筆を持って孤児院の教室に集まります。夕食前の1時間、孤児院内の教室で子供たちはみんなと一緒に日本語の勉強をします。この度 shoichi は SFODA 孤児院を訪問し、子供たちの勉強の様子を視察しました。孤児院に到着すると『こんにちは！こんにちは！』と子供たちが集まってきます。少しずつ少しずつですが、子供たちと日本語で触れ合えるようになってきました。



どんなふうに
日本語を勉強するの？
子供たちのノートをみて
コミュニケーションをとりました。

日本語の勉強は
たのしいよ♪

カタカナ練習中！！



多言語の習得は生きていくのに必要なこと。

●カンボジアの子供たちの教育の現状

カンボジアの教育制度は日本と同じ6年(小学校)・3年(中学校)・3年(高校)制。義務教育は小・中学校の9年間です。2011年のカンボジア教育省の調査では建物が良好な校舎数は5割程度で、教室が不足している学校が多数との結果が出ています。教師が不足している学校では午前と午後に分かれた2部制度をとっており、その為児童1人当たりの授業時間が短く、十分な教育が受けられてない子供も大勢います。

またカンボジアは自国の産業が乏しいこともあり、外資系企業の受け入れが盛んです。国外を取引相手とする業務も多々あり、多言語を扱えることが仕事につく際には有利。クメール語・英語・他に日本語や中国語を身につけようと働きながら勉学に励みます。

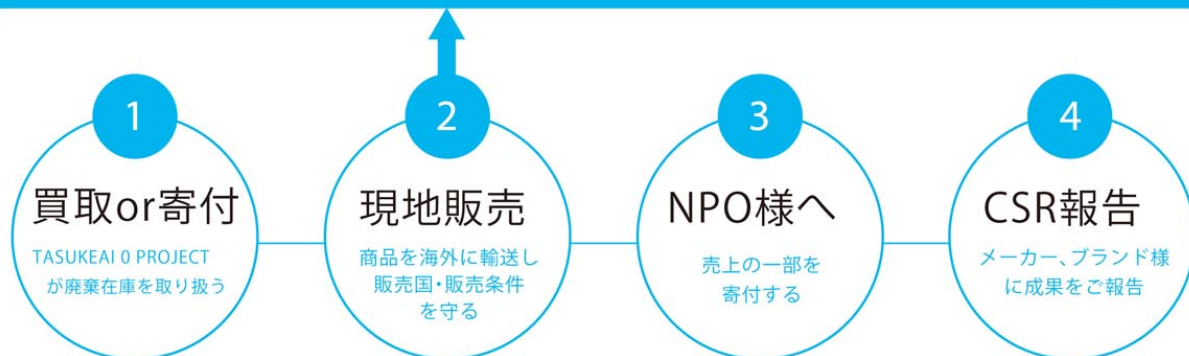
家庭環境が整っていない子供達にとって、多言語の習得は生きていくのに必要なこと。日本語教育を通じて…その手助けを続けていきます。



●子ども達の未来へのサポートを！
わたし達は在庫を通じて実現していきます。

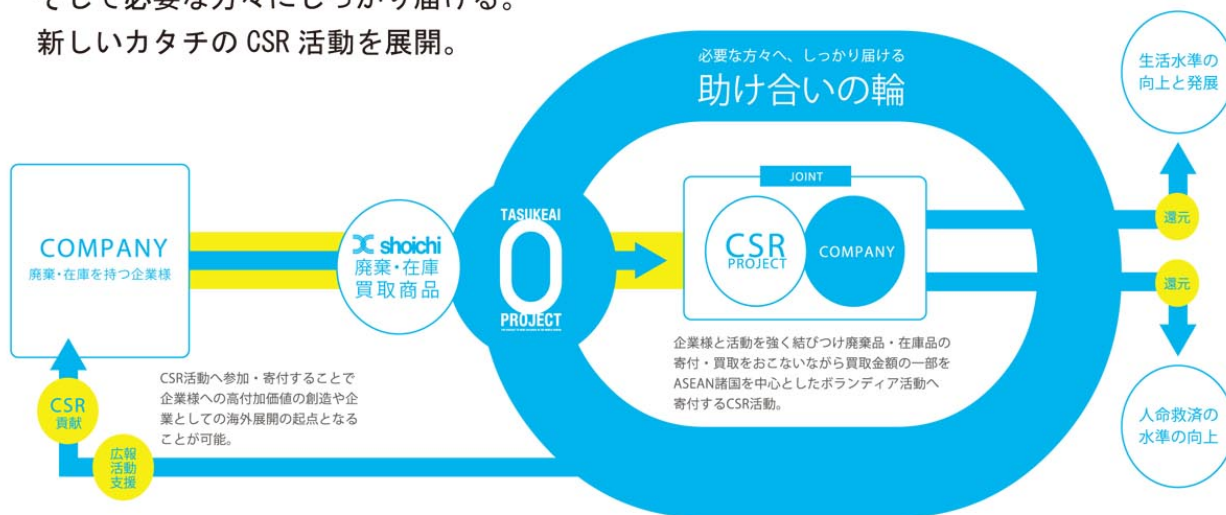
TASUKEAI SHOP

廃棄在庫販売累計枚数 2019年11月末 1,956,273枚



助け合いの輪で在庫に、海外での新しい販路と未来を。

在庫買い取りを通し、助け合いの輪を創りだす。
そして必要な方々にしっかり届ける。
新しいカタチの CSR 活動を展開。



●お問い合わせ

株式会社 shoichi

大阪市中央区南本町 2-6-5 ファースト船場 301 号室

TEL 06-6258-8173 FAX 06-6258-6113

E-mail / shoichiya@shoichi.co.jp